第 21 回太田川河川整備懇談会　議事要旨

○太田川総合水系環境整備事業について、審議を行った結果、事業の改善継続は妥当と判断した。

○安芸太田町の水辺整備と各種施策を一体的に推進するとともに、太田川流域全体を見据え、中流域も含めた魅力向上の取組を進めていくことが望まれる。

○安芸太田町の水辺整備に関しては、イベント開催の場としてだけでなく、河川の魅力を発信することで学べるような仕掛けを考えるのがよいのではないか。

○水辺整備にあたっては、川遊びや自然体験の場としての利用促進だけでなく、専門家の意見を踏まえた環境保全や維持管理など、全体的な視点に立った整備を進める必要がある。

○原爆ドーム前の水辺整備については、原爆ドームを含む世界遺産の景観保全の観点からも、見直したということで理解が得られるのではないか。

○底質改善については、これまで行ってきた事業の効果をモニタリングしていくことが必要である。